

火山噴火予知連絡会 第1回霧島山部会 議事概要

1. 部会の概要

日 時 : 平成30年7月24日(火) 13:00~16:00

場 所 : 鹿児島地方気象台

委 員 : 鍵山部会長、石原、大湊、木川田、齋藤、篠原、棚田、
中尾、中田、藤原、松島、山本

2. 議事概要

各委員からの、これまでの観測状況及び各種解析結果の報告をもとに、霧島山の火山活動について検討を行った。概要は以下のとおり。

新燃岳、えびの高原(硫黄山)周辺、及び御鉢の火山活動について、気象庁から以下の現状評価が示され、部会で共通認識を持った。

- ・新燃岳では、引き続き、噴火活動は次第に低下してきているものの、地震活動は3月の噴火以前より高い状態を保っており、噴火を繰り返す可能性がある。
- ・えびの高原(硫黄山)周辺では、6月上旬頃から硫黄山近傍のGNSS基線で伸びが続き、地震活動にも高まる傾向がみられている。引き続き、ごく小規模な噴火が発生する可能性がある。
- ・御鉢の火山活動には特段の変化はない。
- ・霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられるGNSS基線の伸びは継続しており、火山活動の長期化や活動のさらなる活発化の可能性はある。

霧島山全体の中長期的な火山活動の評価のため、以下の観点について意見交換を行った。

- ・地下構造やマグマ供給系、霧島山周辺の地震も含めた過去の活動を踏まえた霧島山の全体像
- ・2018年の新燃岳噴火の噴出量と地殻変動量の比較によるマグマ収支や、2011年などの過去の噴火の活動推移との比較などを踏まえた今後の火山活動の見通し
- ・監視上の着目点や、活動評価に必要な観測データ

3. 今後の予定

- ・各機関の観測結果や計画について、普段から情報共有。
- ・霧島山の火山活動について定期的に検討するとともに、火山活動に変化があった場合は、必要に応じて部会を開催し、臨機に火山活動の評価を実施する予定。